

平成29年度第5回理事会議事録

1. 期 日 平成 29 年 12 月 3 日(日) 10時から15時00分まで

2. 会 場 青森市民病院 3 階小会議室

参加者	総数	参加率%
10	15	67%

船水憲一	佐藤兼也	森脇公洋	福士正広	成田将崇	石倉牧人	川村匡敦	西村秀行
○	○	○	○	×	○	○	○

片岡郁美	三浦隆司	澤橋政美	岩瀧昌善	須崎勝正	小澤友昭	大湯和彦
×	×	○	○	×	○	×

監事	稲葉孝典	工藤亮裕
	○	○

船水憲一会長が議長を務め、議事録作成人に石倉牧人理事、議事録署名人に西村秀行理事を指名し理事会を開催した。

3. 内 容

【報告 1】理事会代表理事・業務執行理事業務報告

森脇副会長より業務執行役員の 12 月 3 日までの業務報告があった。川村常務理事の追加項目あり、佐藤副会長の追加項目あり。

【報告 2】中間監査について

11 月 19 日（日）10 時～技師会事務所において、中間監査を行った。福士理事より報告、県の会計から指摘がありお金の移動に関して修正が必要となった。

【報告 3】JART 函館大会・全国会長会議について

議題は柔道整復師法一部改正法案に対する反対表明決議、61 歳以上の年会費、アンケート調査への協力、被ばく低減認定施設への協力、統一講習会受講率等であり、これらについて船水会長より報告があった(詳細は別資料参照)。

【報告 4】第 7 回東北放射線医療技術学術大会について

船水実行委員長

参加人数 530 名、一部学生会員より誤って参加登録費を徴収したと思われる。情報交換会も 192 名。

1 月 6 日に実行委員会で総括、監査日程の確認、観光コンベンション協会に決算の提出。

【報告 5】平成 29 年度原子力防災訓練について

森脇副会長より報告

1. 平成 29 年 10 月 25 日（火）9 時 30 分から 13 時 30 分

むつ市下北自然の家（むつ市大畑佐助川 3 9 9） 退避時検査及び簡易除染訓練

大間病院 森脇 公洋 むつ総合病院 長内 直人 参加

2. 平成 29 年 10 月 25 日（火）8 時 30 分から 12 時 30 分

十符ヶ浦海水浴場駐車場（野辺地町田名部道地内）退避時検査及び簡易除染訓練

千代田テクノル 工藤 亮裕 青森市民病院 稲葉 孝典 参加

今回、参加してもらったむつ病院の技師と事前に打ち合わせることができずに訓練に参加してもらったため、かなり戸惑っていたようだ。
マニュアルも当日配布している、相変わらず準備が足りないようである。
稲葉監事より野辺地会場の報告があり、事故時に訓練同様に行ったときは車両の渋滞が予想されること、冬季には不向きなことなどが挙げられた。

【報告 6】 血管模型講習会について

船水会長より報告

37 名 (1 人 2 件の申し込み者 1 名)

内訳脳血管 10 名腹部血管 5 名冠動脈 20 名脳静脈 3 名

【報告 7】 選挙管理委員会 体制について

森脇副会長より報告

日時：平成 29 年 10 月 29 日 13:30～14:15

場所：青森市文化会館 3階和室

委員：川口 政利、蛭名 尚典、川村 智、佐藤 遙香、川村 一次 (欠席)

同席：森脇 公洋、川村 匡敦

役員の選任

委員長：川村智委員、副委員長：川村一次委員

(確認) 任期途中で理事が定員割れした場合、補選をおこなう。

【報告 8】 第 22 回 CT・MRI 診断技術研究会について

佐藤副会長より報告

100 名近い参加。特記事項無く問題なく終了した。

【報告 9】 MMG ポジショニング指導について

稲葉監事より

技師会に所属していないが、八戸日赤でマンモのポジショニングで苦勞されているようですので何とかしたい。

片岡理事にマンモプロテクターを貸し出しているが、その後音沙汰なし 16 日に会うので、その際に事情を確認する。

川嶋会員が行っているので、事後に報告書を受けるようにする。

【報告 10】 2017 年度福島災害医療セミナー in 弘前

稲葉監事より

大学より清野、駒井、後県病と八戸市民から参加、8 名ほど

最近は災害被ばく医療というより、災害から数年たった被災者の不安などの傾聴やカウンセリングが主である。

【報告 11】 災害支援診療放射線技師研修会について (12 月 23・24 日)

船水会長より報告

「災害支援診療放射線技師研修会」開催に伴う受講生の派遣依頼があった。常務理事会で検討した結果、稲葉監事が出席することとなった。

【検討 1】 事業報告等に係る提出書の作成に関する説明会について (12 月 15 日)

福士理事

福士理事は参加出来ないので川村常務理事が出席、船水会長、森脇副会長も出席の方向で調整する。

参加申し込み期限は 12 月 7 日なのでそれまでに決める。

【検討2】青森県生活習慣病検診従事者講習会について（12月16日）

稲葉監事

現在8名の参加申込、ほとんどが検診センター。

昨年の事業報告の際いくつかの指摘事項があり、今回は参加費を取らない、県内乳がん検診を実施している施設にはすべて案内をするなどの対策を講じた。

【検討3】青森県MRI研究会について（30年1月27日・青森市）

佐藤副会長より開催要項の報告

平成30年1月27日（土）14:00-18:00

場所：青森新都市病院 3階会議室 テーマ「Body Diffusion」

例年通り、講師の旅費等を本会で負担する。その他派遣依頼について事務手続きを進める

【検討4】放射線被ばく相談員講習会について（30年2月10・11日）

森脇副会長

「放射線被ばく相談員」は、下記の①~③のすべてを満たすことが必要。

① 座学の講習受講 ② e-learning 受講 ③ 認定試験合格

認定を受けた相談員を置くべきか検討した結果大湯理事にお願いすることにした。

【検討5】上部消化管初級講座について（30年3月3日）

稲葉監事

講師の選任など健診センターに打診するとの報告。

【検討6】MISTについて

川村理事

日時は平成30年8月25日（土）、場所は青森市の労働福祉会館、仮押さえをする。

上記内容で進める予定、まずはMIST役員に上記の日程等について、良いか打診することになった。

【議案1】新入会員の承認

福土理事より

神奈川県より転入者が1名有りと報告。新規会員はないため、議案取り消し。

【その他】

- 女性技師の会「みちのくこまち」の役員後任
船水会長
後任、主なる人がいない。弘大の女性技師に打診したが、技師長に聞いてからとのこと。
- 第7回東北放射線医療技術学術大会 実行委員会
船水会長
1月6日に実行委員会を開催し、総括する。
- 放射線被ばくの労災認定
船水会長
今後、放射線被ばくに関するセミナーを開催していき、継続していきたい。
- 放射線技師連盟の代表に関して
船水会長
OBから選任したい。
- 全国X線撮影技術読影研究会に関して

船水会長
情報提供を待っている状態。
例年約100名前後参加、年2回開催している。

● 放射線管理ノービスセミナー（RMNS）

船水会長
開催の案内報告

● 統一講習会

船水会長

仙台市内の東北厚生局立入監査で業務拡大に伴う統一講習会の受講者数を確認している。

また申込者20名未満でも開催するよう指導されているようである。

平成30年度は1回の開催として4月28日29日にむつ市が開催値候補に挙がったので、むつ総合病院山上技師長に確認する。

● 青森県原子力災害医療対策専門部会委員について

弘前大学附属病院成田理事に打診する。

● 健康まつり反省会について

12月25日（月）19時弘前市ヒロロ3階で開催する。

以上

本書は議事録に相違ない。

平成29年12月12日

青森市安方二丁目17番15-802号
ライオンズマンション新町通
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

議事録作成人 石倉 牧 人

議事録署名人 西村 秀 行

代表理事 船 水 憲 一

監事 稲 葉 孝 典

監事 工 藤 亮 裕